

# 広聴部会

日時 令和7年4月23日(水) 13時00分～  
場所 第1委員会室

---

## 1 街頭インタビューについて

## 2 わがまちトークについて

### 1 申込みフォーム

### 2 はたちの会実行委員会

## 3 議場見学会について

## 4 その他

<今後の日程>

・6月 2日(月) 各会議終了後

～街頭インタビューについて～

○日時：令和7年5月18日（日）13：00～ 2時間程度

○対象：市内外問わず、幅広い年代の方々

○場所：JR亀岡駅北周辺

○質問項目：

- ①市議会モニター制度を知っているか。
- ②わがまちトークを知っているか。

○目的：令和6年度から新規に導入した「市議会モニター制度」及び約5年ぶりに復活・開催した「わがまちトーク」それぞれの認知度を把握し、今後の在り方について参考にするため。

○形式：パネルへのシール貼付

○集合場所：サンガスタジアム足湯付近

○集合時間：12：45

○その他特記事項：

- ・「亀岡市議会」の腕章をつけて活動する。
- ・服装は私服で行う。
- ・市議会だよりに掲載する可能性がある旨伝える。
- ・市民か市民でないかを確認する。

※雨天時、ガレリアかめおかへ移動

令和7年度 わがまちトーク 申込みフォーム  
(動作確認用QRコード)



令和7年亀岡市はたちの会実行委員会 開催状況

	月日	内 容	場 所
1	2024年6月14日	初顔合わせ、前実行委員からの助言、年間スケジュール確認等	開かれたアトリエ
2	6月27日	正副実行委員長選定、テーマの検討等	//
3	8月19日	活動内容の検討、テーマ及び取組分担の決定等	//
4	8月29日	事前分担別協議及び進捗状況交流、市長との意見交換会内容検討等	//
5	9月12日	横断幕張替え作業、市長との意見交換会最終確認等	//
6	10月1日	市長との意見交換会	//
7	10月15日	当日の役割分担、横断幕作成、作成物の協議等	//
8	10月24日	スタジアム下見、案内チラシ確認等	サンガS
9	11月1日	中止	
特別回	11月7日	わがまちトーク	開かれたアトリエ
10	11月14日	横断幕作成、パンフレット作成等	//
11	11月28日	中止	
12	12月5日	簡易リハーサル	//
13	12月19日	中止	
14	2025年1月12日	前日準備、総合リハーサル等	サンガS
当日	1月13日	当日	//
15	2月4日	教育長・教育部長懇談会、はたちの会総括	開かれたアトリエ

— R6 議場見学会〈概要〉 —

- 日 時：令和6年8月17日（土）10時～11時30分
- 対 象：小学校1年生～6年生
- 定 員：子ども25名
- 申込期間：7月16日（火）～8月12日（月・振休）
- 内 容：議会探検（正副議長室、委員会室、会派控室、事務局）  
※議長挨拶、キーワード探し、標柱作成含む  
登壇体験（名前、学校名）  
※上級生から順番に実施  
※議長から名前を呼んでもらう  
市議会クイズ（5，6問程度）  
質問コーナー（回答者として、広報広聴会議委員以外の議員にも  
参加いただく）  
  
アンケート  
参加証授与  
記念撮影
- 担 当：進行次第作成 山木副部長  
（事 前）市議会クイズ作成 松山部長  
アンケート作成 ※前回と同じ  
参加証作成 全員  
標柱作成 全員
- 担 当：歓迎挨拶 大塚委員長（傍聴席にて）  
（当 日）全体進行 山木副部長  
市議会クイズ進行 松山部長、林委員  
登壇体験補助 片山委員  
お礼の挨拶 松山部長

●議場見学会について（総括）● ※令和6年8月23日広聴部会協議記録一部抜粋

<主な委員意見>

- ・現在は、備品や参加者への記念品等を購入するための予算を計上しておらず柔軟性に欠けるため、今後予算を要求する必要があるのではないか。
- ・低学年の児童と高学年の児童では、知識量や行動意識が異なるため、対象者について今一度考え直した方がよいのではないか。特に市議会クイズは、難易度について配慮する必要があると感じた。
- ・市議会クイズについて、議会から乖離せず、小学生にとって馴染みのある部分を組み込むべきであった。
- ・市民の方々が進んで参加したいと思えるような議場見学会にしなければならない。また、広報についても、どなたでも参加したいと思えるようなよりよい方法を模索する必要があると感じた。
- ・アンケートの内、「Q3. この体験をしてみて」の回答で、「楽しくなかった」が一人もおらず、安堵した。
- ・昨年の反省を活かし、お手洗い休憩を複数回とることができた。
- ・「議会探検（キーワード探し）」の際に、参加者の間で一体感を感じることができた。次回はそういった一体感を広げることができるイベントを取り入れていければよいと思う。
- ・保護者と参加者で目線が違うため、アンケートは別々の内容で作成したほうがよいのではないか。